

特集 乳酸菌・ビフィズス菌・乳酸菌生産物質

殺菌乳酸菌『AD101』など、4種の乳酸菌を展開 長年の歴史を健康博覧会でアピール

アドバンス

㈱アドバンス(東京都中央区)は、腸内細菌のバイオニア企業として、乳酸菌『AD101株』をはじめとした複数の菌体素材の販売、OEM供給を行っており、近年の腸内細菌への関心の高さを背景に積極的な提案を行っている。今月8日より開幕する展示会「健康博覧会2023」にも出展。展示ブースでは、豊富なエビデンスと多数の特許実績に基づいた製品の紹介に加え、OEMの提案、菌体素材についても案内する。

同社は1973年に健康関連商材のベンチャー企業として創業。創業者の浦壁初栄氏がストレプトコッカス・フェカリス(現エンテロコッカス・フェカリス)の一種に動脈硬化の要因とされるコレステ

ロールや血中トリグリセライドの低下作用があることを突き止めたことをきっかけに、同年腸内細菌サプリメント「コッカス菌AD101株」を世界に先駆けて開発した。「AD101株」は健康なヒトの腸内細菌から分離され、より活性を高める為に特殊熱水処理を行った死菌体。加熱処理によってヒートショックプロテインなどのグロスファクターが放出されることで、体内摂取後、他の腸内細菌の増殖能をより高め、より多様性をもたらすことを確認している。以降取り扱い菌体を増やし、現在ラインアップは「AD101株(Enterococcus faecalis)をはじめ、「AD302株(Lactobacillus reuteri)」「AD206株(Lactobacillus acidophilus)」、

「AD601株」の4種を揃える。同社社長の浦壁初栄氏は「健康食品のみならず一般の食事からも手軽に有用菌を摂取して欲しい」としており、一般食品に配合できる新商品開発にも意欲をみせる。

昨秋、リニューアル新発売した粉末タイプの『AD株マジック』は、その代表的商品。スープなどに加えても溶けやすくする粉末を採用。菌末も従来品に配合していた3種「AD101株」「AD302株」「AD206株」に加え、新たに「AD601株」を追加し4種類に増加。含有する菌数は1包あたり従来品の6,000億個から、1兆2,000億個と倍増した。また、内容量についても15g(0.5g×30包)から30g(1g×30包)に増量し、より体感性の強い商品設計に変更してい

る。パンやケーキなどに練り込むことも想定し、高温で焼き上げても活性を維持することも確認済みだ。今

後は中食や外食シーンに向けた協業による展開や、OEM供給についても積極的に展開していく構え。

このほか、ロングセラーの飲料製品『コッカスドリンクゴールド』についても昨年リニューアル。パッケージを一新した。1瓶50mlあたり、「AD101株」を500mg、「AD302株」を500mgと高配合し、さらに酵母エキスを加えた。日々の健康維持を目的とした体感の強いドリンクとして、通販などで支持を集めている。

